

CSRマネジメント

企業理念・CSR方針

CSR推進体制

CSR委員会とCSR推進体制

「4つの価値」と「13の指針」に基づくCSRマネジメント

マテリアリティの特定

マテリアルな項目の特定

ステークホルダーエンゲージメント

ステークホルダーエンゲージメント

「サステナビリティレポート」の発行

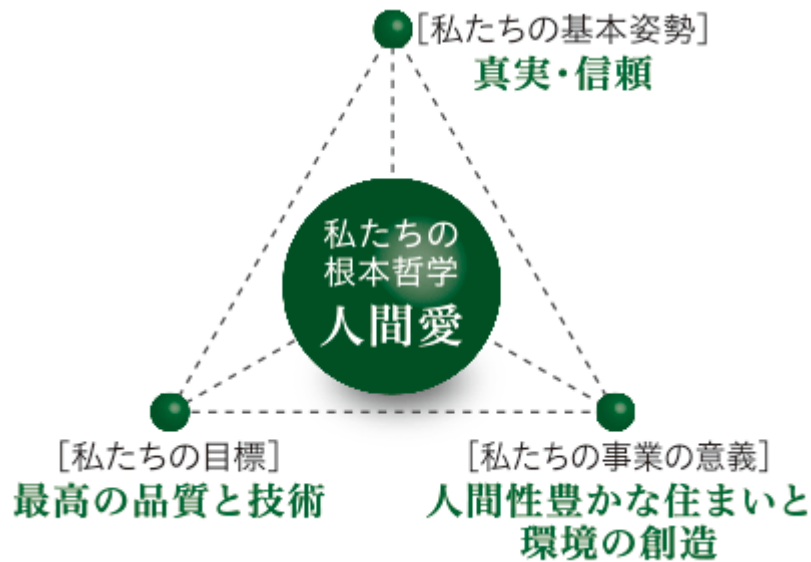
対外活動

住環境の質の向上を目指した行政や業界団体との活動

企業理念・CSR方針

積水ハウスグループでは「人間愛」を根本哲学とする企業理念を制定しています。「人間愛」とは、「相手の幸せを願い、その喜びを我が喜びとする奉仕の心を以って何事も誠実に実践する」ことで、全従業員での討議を経て1989年に制定しました。

■ 企業理念（1989年1月制定）



人間愛～私たちの根本哲学～

「人間は夫々かけがえのない貴重な存在であると言う認識の下に、相手の幸せを願いその喜びを我が喜びとする奉仕の心を以って何事も誠実に実践する事である。」

【関連項目】

> [企業理念](#) 

そして、その幸せを願う対象となる重要なステークホルダーを「お客様」「従業員」「株主」と定め、お客様満足（CS）、従業員満足（ES）、株主満足（SS）を達成することが当社グループの企業理念を踏まえたCSR方針です。

CSR推進体制

CSR委員会とCSR推進体制

積水ハウスでは、「社外の目」をCSR経営に取り入れ、現在のCSR活動が社会の常識や期待と合致しているか否かをチェックしながら、その活動方針を定めていくことで、グループ全体のCSRへの取り組みを充実させてきました。CSR推進体制を確立して11年が経過し、社内におけるさらなるCSR推進のムーブメントを起こそうと2017年に新体制へ移行しました。

代表取締役4人をはじめとする社内委員のほか、有識者2人を社外委員として加えた「CSR委員会」を年2回開催しています。なお、CSR委員は取締役会の決議により決定しています。

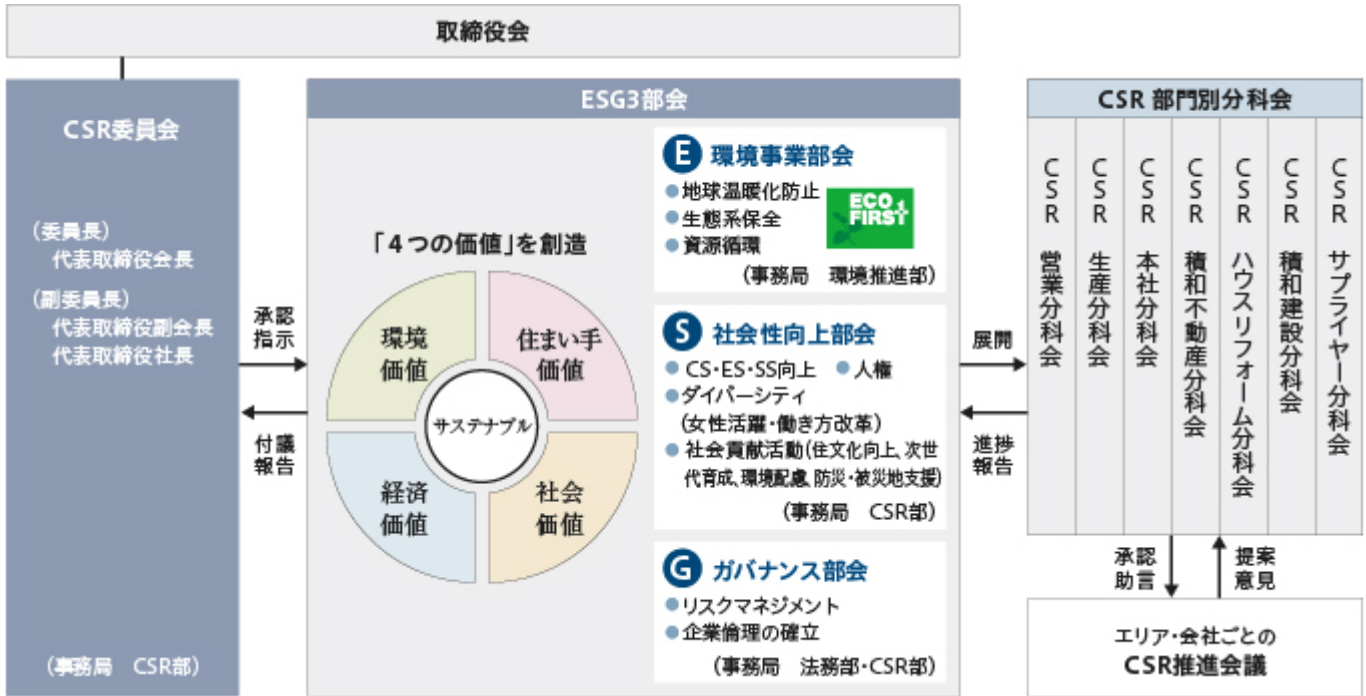
社外委員

辻 晴雄 氏 シャープ株式会社 元社長
増田 寛也 氏 元総務大臣、前岩手県知事

CSR委員会の傘下には、ESGの3部会（E・環境事業部会/S・社会性向上部会/G・ガバナンス部会）を設け、活動の推進と徹底を図っています。緊急度・重要度の高いテーマから優先的に議論し、取り組むべきことを明確にして、分科会で社内への浸透を図っています。また、事業所長と連携して事業所内でCSR活動を推進するため、全事業所にCSR推進委員を配置しています。

ESG3部会の役割（中長期的課題）

| ESG3部会 | 役割（中長期的課題） | 事務局 |
|--------------------------------|---|----------|
| E（環境事業部会） 部会長：三浦常務 | 地球温暖化防止、生態系保全、資源循環 | 環境推進部 |
| S（社会性向上部会） 部会長：内田副社長 | CS・ES・SS向上、人権、ダイバーシティ（女性活躍・働き方改革）、社会貢献活動（エコ・ファースト、キッズファースト） | CSR部 |
| G（ガバナンス部会） 部会長：稲垣副会長 | リスクマネジメント、企業倫理の確立 | 法務部・CSR部 |

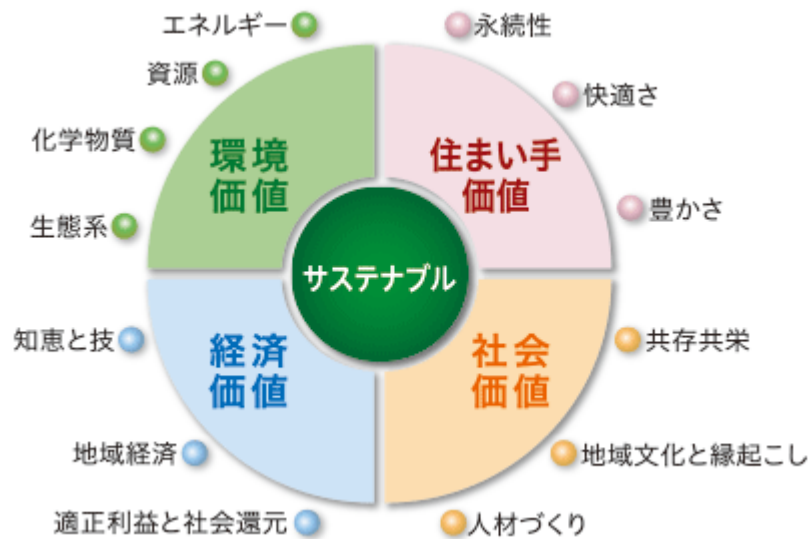


CSR推進体制

「4つの価値」と「13の指針」に基づくCSRマネジメント

CS・ES・SSの三位一体の向上に向けて、2005年に「サステナブル・ビジョン」を宣言し、その実現のため、行動指針となる「4つの価値」と「13の指針」に基づいて方向性を決めました。この「4つの価値」と「13の指針」は、国際的な「持続可能性」の定義を踏まえており、2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標「SDGs」とも整合しています。

「4つの価値」と「13の指針」



下表は、積水ハウスの「サステナブル・ビジョン」を実現するための行動指針である「4つの価値」と「13の指針」と「SDGs」の関係性を示しています。今後も「4つの価値」と「13の指針」に基づく活動を推進していきます。

「4つの価値」と「13の指針」とSDGsの関係

| 積水ハウスの「4つの価値」と「13の指針」 | | | 該当するSDGs | | |
|-----------------------|-----------|----------------------------------|--|---|---|
| 価値 | 指針 | 内容 | | | |
| 環境価値 | エネルギー | 化石燃料に依存しないエネルギー利用の実現 |  |  |  |
| | 資源 | 自然生態系の再生能力を超えない資源の利用 | | | |
| | 化学物質 | 自然界に異質で分解困難な物質の濃度を増やしつづけない |  | | |
| | 生態系 | 自然の循環と多様性が守られるよう配慮する |  | | |
| 経済価値 | 知恵と技術 | 「サステナブル」な価値を創造する知恵と技術の蓄積 |  | | |
| | 地域経済 | 地域経済の活性化 | | | |
| | 適正利益と社会還元 | 適正な企業利益の追求と社会への還元 |  |  |  |
| 社会価値 | 共存共栄 | 社会のさまざまな関係者との信頼と共感に基づく共存共栄の関係の構築 |  | | |
| | 地域文化と縁起こし | 地域文化の継承・醸成とコミュニティ育成 |  |  |  |
| | 人材づくり | 「サステナブル」な価値を創出する人材づくり |  |  | |
| 住まい手価値 | 永続性 | 末永く愛され、時とともに値打ちを高める住まいづくり |  |  |  |
| | 快適さ | 穏やか、健やかで快適な暮らしの提供 |  | | |
| | 豊かさ | 永きにわたる豊かさの提供 |  | | |

「17のMaterialな項目」の該当範囲（バウンダリー）

| | |
|-----------------------|---------------------------------------|
| 経済パフォーマンス | 積水ハウスグループ、お客様、従業員、株主・投資家、取引先 |
| 調達慣行 | 積水ハウスグループ、従業員、株主・投資家、取引先、地域社会 |
| エネルギー | 積水ハウスグループ、従業員、株主・投資家、取引先 |
| 生物多様性 | 積水ハウスグループ、お客様、従業員、取引先、地域社会 |
| 大気への排出 | 積水ハウスグループ、お客様、従業員、株主・投資家、取引先、地域社会 |
| 排水および廃棄物 | 積水ハウスグループ、従業員、取引先、地域社会 |
| マーケティングとラベリング | 積水ハウスグループ、お客様、従業員、株主・投資家、消費者、取引先、地域社会 |
| 環境コンプライアンス | 積水ハウスグループ、お客様、従業員、株主・投資家、消費者、取引先、地域社会 |
| サプライヤーの環境面の アセスメント | 積水ハウスグループ、株主・投資家、取引先 |
| 雇用 | 積水ハウスグループ、従業員、地域社会 |
| 労働安全衛生 | 積水ハウスグループ、従業員、取引先 |
| 研修と教育 | 積水ハウスグループ、従業員、取引先 |
| ダイバーシティと機会均等 | 積水ハウスグループ、従業員、地域社会 |
| 人権アセスメント | 積水ハウスグループ、従業員、株主・投資家、取引先、地域社会 |
| 顧客の安全衛生 | 積水ハウスグループ、お客様、消費者、地域社会 |
| 顧客プライバシー | 積水ハウスグループ、お客様、従業員、消費者、取引先 |
| 社会経済面のコンプライアンス | 積水ハウスグループ、お客様、従業員、株主・投資家、消費者、取引先、地域社会 |

ステークホルダーエンゲージメント

ステークホルダーエンゲージメント

積水ハウスグループの事業活動に影響を与える重要なステークホルダーは事業の性質上多種多様であり、「お客様」「消費者」「取引先」「従業員」「株主・投資家」「地域社会」などです。これらすべてのステークホルダーとの対話を重視し、課題や期待に応えるためさまざまな手段により、日常のコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。

■ 主なステークホルダーとエンゲージメントの概要

| 主なステークホルダーと果たすべき責任 | エンゲージメント例 | 提起されたテーマ例 | 左記への対応 |
|---|--|--|---|
| <p>お客様（オーナー様）に対して 大切な資産が長く愛着を持って生かされるように、お客様第一の姿勢を貫き、コミュニケーションを大切にします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ お客様アンケート実施 ■ 情報誌発行「きずな」（年2回） ■ 「Maisowner」（年2回） ■ 「gm」（年3回） ■ 「Netオーナーズクラブ」運営 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 住宅の長寿命化、「住まい手」価値の向上 ■ アフターサポートの充実 ■ 手入れしやすい、使いやすい外構提案・工事 | <ul style="list-style-type: none"> ■ まちなみ評価制度「 commons」の運用 ■ エクステリア事業成長に向けた全社横断連携の強化 ■ CSV戦略④アフターサポートの充実による住宅の長寿命化 |
| <p>消費者（潜在顧客）の皆様に対して 「人間性豊かな住まいと環境の創造」に向けて、信頼関係を築けるよう、積極的に情報開示を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 総合住宅研究所「納得工房」 ■ 住ムフムラボ ■ 住まいの夢工場 ■ 積水ハウス エコ・ファーストパーク ■ すまい塾 ■ 生活リテラシーブックなどを活用したダイアログの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 住まいづくりのプロセス、ものづくりの現場の公開 ■ 「住」による環境問題解決方法の見える化 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 「住ムフムラボ」での研究メンバー募集、ワークショップ開催 ■ 研究施設の一部を公開 ■ 「積水ハウス エコ・ファーストパーク」でのワークショップ・親子向けイベント開催 |
| <p>取引先の皆様に対して お客様満足の実現を通じて共に発展していくために、公正で対等な取引に努め、温かい共存関係を育てます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 「積水ハウス会」「セキスイハウス協力会」組織化 ■ 「方針説明会」開催（年1回） ■ 「取引先評価」実施 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工現場環境の改善（省力化、施工技能者の高齢化への対応） ■ 納期確定精度の向上（資材・部材納入に当たって） | <ul style="list-style-type: none"> ■ 部材表示の改善、部材複合化・プレカット・プレセットの推進 ■ WEBによる工程表のメーカーとの共有・入力徹底 ■ CSV戦略③バリューチェーンを通じた顧客価値の最大化 |

| 主なステークホルダーと 果たすべき責任 | エンゲージメント例 | 提起されたテーマ例 | 左記への対応 |
|--|--|---|--|
| 従業員に対して 従業員が個々の能力を生かし、価値ある仕事を通じて創造的成長を遂げられるよう、多様な一人ひとりの個性を尊重し、公正かつチャレンジ精神をはぐくむ職場環境・制度を整備し、ES（従業員満足）の向上を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 社内公募制度 ■ 社内資格制度 ■ ヒューマンリレーション研修（年1回） ■ ガバナンス意識調査（年1回） ■ 労働安全衛生マネジメントシステム ■ グループ誌発行（年6回） | <ul style="list-style-type: none"> ■ 女性活躍の推進 ■ ワーク・ライフ・バランスの推進 ■ 障がい者雇用の促進 ■ 風通しの良い職場づくり | <ul style="list-style-type: none"> ■ CSV戦略⑤ダイバーシティの推進と人材育成 |
| 株主・投資家の皆様に対して 健全な成長による企業価値の向上と株主・投資家の皆様への利益還元のために、社会的価値の高い企業であり続けることを目指し、公正で透明性の高い企業経営を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 株主総会 ■ 「ビジネスレポート」（年2回）、「Annual Report」（年1回）発行 ■ 「IRニュースメール」配信 ■ 株主優待贈呈制度 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 経営戦略、経営計画に関する分かりやすい開示 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 経営説明会開催 ■ 工場等の施設見学 ■ 個別面談実施 |
| 地域社会に対して 地球環境を守りつつ、すべての人が人間らしい豊かな暮らしを実現できるよう、地域の文化と豊かさをはぐくみ、住宅企業らしさを生かして、社会還元、協力と参画に努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 「積水ハウスマッチングプログラム」 ■ NPO法人キッズデザイン協議会への協力 ■ NPO法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫への協力 ■ 公益信託「神戸まちづくり六甲アイランド基金」 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 安全・安心な暮らし ■ 防犯、防災につながるまちづくり ■ 障がい者の自立支援 ■ 次世代育成 ■ 被災者や障がい者の自立支援 | <ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティ形成支援（ひとえん） ■ 災害時の復旧支援体制構築 ■ 防災未来工場化計画 ■ 新入社員による被災地復興支援活動 ■ 被災地企業や障がい者福祉作業所の商品を購入して支援 |
| 共通項目 | コンプライアンスの徹底、環境配慮の徹底、説明責任の遂行 | | |

ステークホルダーエンゲージメント

「サステナビリティレポート」の発行

環境報告書「ECO WORKS」に社会・経済面の情報を充実させ、2005年から持続可能性報告書「サステナビリティレポート」として発行しています。サステナブル社会の実現に向けた積水ハウスグループの取り組みをご理解いただくとともに、取り組みのさらなる向上を目指して社会とコミュニケーションを図ることが目的です。

サステナブル社会の実現に向けた当社グループの取り組みをご理解いただくとともに、取り組みのさらなる向上を目指して社会とコミュニケーションを図ることを目的に、持続可能性報告書「サステナビリティレポート」を発行しています。

「サステナビリティレポート2017」では、GRI（Global Reporting Initiative）ガイドライン第4版の特定標準開示項目における46側面から19側面に絞り込み、具体的なCSR活動レベルで束ねた六つの「CSV戦略」を開示しています。

4万5000部発行している「サステナビリティレポート」本冊子のうち、約2万3000部は、当社グループ全従業員へ配布しています。従業員一人ひとりが自社グループのCSRや環境への取り組みとその課題について理解を深める必要があるとの考えによるもので、「サステナビリティレポート」はそのための重要なツールと位置付け、活用しています。

また、「サステナビリティレポート」で扱うテーマは広範囲にわたるため、WEB版で網羅性を持たせて幅広く、冊子版では特に重要と考える活動にテーマを絞って紹介しています。さらに、英語版や中国語版、日本語版ではお客様向けに別冊を発行し、より幅広いステークホルダーに当社の取り組みを紹介しています。

「サステナビリティレポート2017」ラインアップ

| | 冊子 | WEB | 別冊 |
|----------|---|--|---|
| |  |  |  |
| 編集方針等 | 重要性の高い情報に絞り込み、読みやすく・分かりやすく編集 英語版・中国語版も用意 | あらゆるステークホルダーへの説明責任を果たすため、網羅的に情報開示 PDFでの一括ダウンロードも可能 | 特にお客様の関心が高く、重要性の高い活動に絞り込んで編集 |
| 対象読者 | グループ全従業員、有識者、CSRへの関心が高いお客様 | あらゆるステークホルダー | 一般のお客様 |
| サイズ・ページ数 | A4・全84ページ | —・(A4で) 536ページ | A5・全24ページ |


【関連項目】

> [報告書ダウンロード](#)

これまでの取り組み

| | |
|-------|--|
| 1999年 | 「環境未来計画」を発表 |
| 2001年 | 環境報告書「ECO WORKS」の発行を開始 |
| 2005年 | 「サステナブル宣言」の発表を受け、環境面だけでなく、社会・経済面の情報公開を充実させ、持続可能性報告書「サステナビリティレポート」として発行開始 |
| 2013年 | 「サステナビリティレポート別冊」の発行を開始。特にお客様の関心が高く、重要性の高い活動に絞り込んで編集 |
| 2014年 | CSRを事業活動と統合し、さらなるレベルアップを図るために重点的に取り組む五つの重要なテーマを特定し、「CSV戦略」として開示 |
| 2015年 | 「海外への事業展開」を六つ目の「CSV戦略」として特定 |
| 2016年 | GRI (Global Reporting Initiative) ガイドライン第4版 (G4) の「中核」に準拠 |

社外からの評価

| レポート名 | 主催 | 受賞 |
|---|---|---|
| 「サステナビリティレポート 2017」  | 環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム | 「第21回環境コミュニケーション大賞」 環境大臣賞（持続可能性報告大賞） |
| | 審査委員会からの評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>住まいからのCO₂排出ゼロを目指す「脱炭素」経営を旨としており、本年度「サステナビリティビジョン2050」を新たに策定し、「脱炭素社会」、「人と自然の共生社会」、「資源循環型社会」、「長寿先進・ダイバーシティ社会」を率先して目指す事業プランが、実績を踏まえつつ詳細に描かれている。並行して、持続可能な社会実現のためのCSV戦略を設定しており、国内外で持続的な住環境づくりとコミュニティデザインに主眼を置く事業展開の記述が優れている。</p> <p>2001年より進めている、住宅地の植栽に配慮する「5本の樹」計画の実績が、国内で年間100万本レベル、累計1300万本超に達し、都市型の生態系ネットワークの保全を広く実践している。また2007年4月策定の「木材調達ガイドライン」に沿って、合法で持続可能な「フェアウッド」の利用促進を図っている。</p> <p>いずれも住まい手、木材サプライヤー、環境NGO等との継続的な対話と連携の取組であることが報告され、独創性のある取組である。</p> </div> | |

これまでの実績

| レポート名 | 主催 | 受賞 |
|---|----------------------|--|
| 「ECO WORKS 2004」  | 環境省、財団法人地球・人間環境フォーラム | 「第8回環境コミュニケーション大賞」 持続可能性報告優秀賞（理事長賞） |
| | (株) 東洋経済新報社 | 「第8回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」 サステナビリティ報告書賞優良賞 |
| 「サステナビリティレポート 2006」  | 環境省、財団法人地球・人間環境フォーラム | 「第10回環境コミュニケーション大賞」 持続可能性報告優秀賞（理事長賞） |
| | (株) 東洋経済新報社 | 「第10回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」 サステナビリティ報告書賞優良賞 |

| レポート名 | 主催 | 受賞 |
|--|-------------------------------|--|
| <p>「サステナビリティレポート 2011」</p>  | <p>環境省、財団法人地球・人間環境フォーラム</p> | <p>「第15回環境コミュニケーション大賞」 生物多様性報告特別優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）</p> |
| <p>「サステナビリティレポート 2013」</p>  | <p>環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム</p> | <p>「第17回環境コミュニケーション大賞」 優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）</p> |
| <p>「サステナビリティレポート 2014」</p>  | <p>環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム</p> | <p>「第18回環境コミュニケーション大賞」 審査委員会特別優秀賞（第18回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞）</p> |
| <p>「サステナビリティレポート 2015」</p>  | <p>環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム</p> | <p>「第19回環境コミュニケーション大賞」 審査委員会特別優秀賞（第19回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞） ※3年連続の優秀賞、2年連続の同賞受賞</p> |
| <p>「サステナビリティレポート 2016」</p>  | <p>環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム</p> | <p>「第20回環境コミュニケーション大賞」 環境大臣賞（持続可能性報告大賞） ※4年連続の優秀賞以上の受賞</p> |

対外活動

住環境の質の向上を目指した行政や業界団体との活動

わが国の住宅レベルや、住環境の質の向上において、積水ハウスの役割と責任は大きく、多くの業界団体にも所属して、一企業としてだけでなく、住宅業界を先導するさまざまな活動を推進しています。

近年では、サステナブル社会構築と豊かな住生活の実現に向けて、「住生活基本法」の制定やその推進、「長期優良住宅普及促進法」の制定や展開において、立法、行政、経済界などでのあらゆる発言機会をとらえ、積極的に意見を発し、提言してきました。

加えて、再生可能エネルギーの利用促進、長寿命住宅の建築促進による良質な住宅ストック確保などのインセンティブ施策や税制についても、積極的に提言。その結果、住宅資金贈与の非課税枠の拡充や住宅取得にかかる各種減税措置の延長などが実現しています。

■ 行政や業界団体との活動 ※2018年1月末日現在

行政

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 国土交通省 | 住宅・建築物のエネルギー消費性能の実態等に関する研究会 |
| 経済産業省 | 総合資源エネルギー調査会 ZEHロードマップ フォローアップ委員会 |

業界団体等

| 団体名 ★は当社が会長（議長・代表理事）会社 | 委員会等 ★は当社が委員長 | 団体ホームページ |
|----------------------------------|--|---|
| 一般社団法人 日本経済団体連合会 | 理事会 都市・住宅政策委員会 女性の活躍推進委員会 | http://www.keidanren.or.jp/  |
| 公益社団法人 関西経済連合会 | 統括委員会 企業法制委員会★ | http://www.kankeiren.or.jp/  |
| 大阪商工会議所 | 建設・建材部会 | http://www.osaka.cci.or.jp/  |
| 一般社団法人 住宅生産団体連合会★ | 運営委員会★ 住宅税制・金融委員会★ 住宅性能向上委員会★ 建築規制合理化委員会 IoT検討プロジェクトチーム★ | http://www.judanren.or.jp/  |
| 一般社団法人 プレハブ建築協会 | 技術分科会 公住分科会★ 展示場分科会 | http://www.purekyo.or.jp/  |
| 一般財団法人 住宅生産振興財団 | 理事会 事業運営委員会 | http://www.machinami.or.jp/  |
| 一般社団法人 優良ストック住宅推進協議会★ | 理事会★ 幹事会★ 企画&総務委員会 広報HP委員会 | https://sumstock.jp/  |
| 一般社団法人 高齢者住宅推進機構★ | 総会、理事会★ 企画運営委員会★ | http://www.shpo.or.jp/  |
| 日中建築住宅産業協議会 | 総会、理事会 運営委員会 交流委員会 広報委員会★ | http://jcbh.org/  |
| 一般社団法人 国際ユニヴァーサルデザイン協議会 | | https://www.iaud.net/  |
| 特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会 | | http://www.kidsdesign.jp/  |
| エコ・ファースト推進協議会★ | | https://www.eco1st.jp/  |